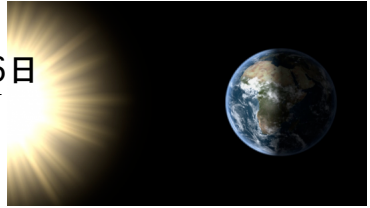


Manna マナ (011号) 2008年4月06日**【新カリキュラムが始まります！】**

グリニッチ教会の礼拝式、分級、教会学校はCS成長センター発行の教案紙「成長」に沿って

その日のテーマ、聖書箇所、レッスンを定めています。3年間を一つのサイクルとして旧新約聖書から重要な箇所を学ぶカリキュラムになっていますが本日より新サイクルが始まり、2011年3月まで続きます。共に神様の御言葉を探る冒険に旅立って参りましょう。そのような訳で4月は聖書の初めの初め、創世記です。創世記にこそ神とは誰か、人間存在の意義、罪の現実、救いの方法等、聖書の最も大切な真理が語られているのです。クリスチャンが立つも立たぬも創世記の第一声にすべて掛かっていると書いていいのです。

【今週の暗唱聖句】

初めに、神が天と地を創造した。創世記 1:1

いつ？誰が？何を？どうした？との重要な問いへの答えが提示されています。更に1章にはどうやって？に対しては「ことば」によって、なぜ？に対しては「満足」のためだったと語られています。

【テーマの予告】

4/06 天地創造	創世記1-2章
4/13 最初の罪	創世記3章
4/20 カインとアベル	創世記4章
4/27 ノアと箱船	創世記6-7章
5/04 約束の虹	創世記8章
5/11 バベルの塔	創世記11章

【通読・毎日のデボーションその後、いかがですか？】

2008年・年間目標：デボーションの確立／実を結ぶための土台をしっかりと据える。

2008年もあっという間に最初の1/4が過ぎ去りました。4月と言えば日本では入学・入社式、学年が上がる時でもあり、1月に始めた通読やデボーションの決心を新たに作る良い時かも知れませんが、ただ、通読も日々のデボーションも決して「修業」ではなく、何よりも神様と時を過ごす時であることを思い出しましょう。夫、妻、子供、友人・・・どのような「人格関係」も愛と尊敬を込め、QUALITY TIME（質の高い交わりの時間）を持つように努めなければ、その関係は表面的なレベルに留まり、決して深まることがありません。神との関係も同様です。私たちも詩篇詩人の言葉を自分たちのものにしていきたいものです。聖書を読み始める前に一言、神への感謝、信頼、親愛を表現し、ご自身について分からせて下さい、と願って始めましょう。

詩篇 84:3 私のたましいは、主の大庭を恋い慕って絶え入るばかりです。私の心も、身も、生ける神に喜びの歌を歌います。

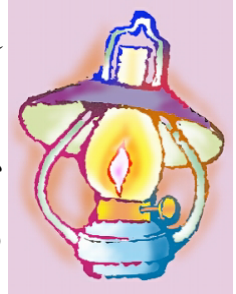
詩篇 84:11 まことに、あなたの大庭にいる一日は千日にまします。私は悪の天幕に住むよりはむしろ神の宮の門口に立ちたいのです。

【先週のMESSAGEより】

Rev. Bill Schuit New Director of Global Ministries of Liebenzell USA

Salt & Light 塩と光 マタイ5:13-16

●世の中は確かに問題だらけだが、罪人は罪を犯すということを考えればあたりまえである。しかし状況が悪くなっているとすれば、それは地の塩、世の光としての役割を与えられている教会が神から与えられている務めを十分にしていないということになる。神はあなたを問題解決の手段として選ばれた。私たちは1) 地の塩、世の光として働きを自分の使命として受け止める必要がある。2) それぞれ今いる所こそ神が置いて下さっている所であることを理解し、3) 機会が開かれるように祈る必要がある。4) 失われている人々に「名前」を付けて働きを具体化、明確化し、5) 必要な第一歩を率先して踏み出す。6) 種が蒔かれ育つには時間がかかることを理解し、すぐにはがっかりしない。7) 自分がクリスチャンであることを人々に知らせる。8) 証しをする準備をしておく。その際「もし私がキリストに出会っていなければ」という設問に答える形で話すなら必ず証しは出きる。私たちは地の塩、世の光、神は私たちに働きを託し、期待しておられる。■



【この教会のビジョン (6)】

※短期滞在者、永住者共に愛の絆の中で教会を形成し、靈的、経済的に自立した教会となることを目指す。

「教会を形成する」とはどういうことでしょうか。キリスト教の歴史の長いアメリカですと、教会先にありきという状況が普通です。ですから多くの人にとり、教会は「行ってお話を聞き、礼拝し、何かしら奉仕をしてくる所、及びその建物」という風に理解されます。これは間違いとは言えませんが聖書に示されている

教会は「神によってこの世から選び出され、イエス・キリストを信じて救われた人々の集まり（ギリシャ語でエクレシア／エク＝から、カレオー＝呼ぶ）」です。その集まりはさらに「キリストのからだ」と表現され、再臨によってキリストがこの世に戻ってくるまで、地の塩、世の光としての役割を果たすために存在しています。教会を形成するとはつまり、この目標のために人をキリストの旗の下に集め、愛し、訓練し、働きを進めていく場所、という積極的、能動的な事柄なのです。

【今週の英語】 Adrian Rogers "Adrianisms" より

You'll see how rich you are when you add up everything you have that money can't buy and death can't take away. 死が取り去ることが出来ず、お金で買うことが出来ないものを全部合計してみると自分がどれほど富んでいるかがわかるのである。
Tithing is not God's way to raise money. It's His way to grow Christians. 十分の一献金は神の資金集めの手段ではない。クリスチャンを成長させるご自身の方法なのである。